

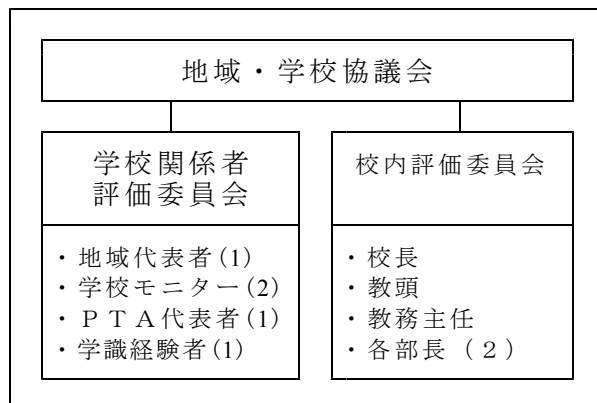
小中連携を進め夢を結ぶ学校づくり

越前町立織田中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域・学校協議会の設置

- 第1回地域・学校協議会（5月24日）
・ 学校経営方針、重点項目等の説明
- 第2回地域・学校協議会（8月4日）
・ 中間自己評価の説明
- 第3回地域・学校協議会（1月19日）
・ 年間自己評価の説明



(2) 地域と連携した特色ある活動

① 地域とのつながりを感じ取る学習の推進

ふるさとを愛する心が育まれていくことを期待して、地域の人から学んだり、地域に出て活動したりする学習を推進している。主なものとして、篠笛や箏の学習、地域美化活動がある。地域美化活動では、中学生がリーダーとなって、小学生や地域ボランティアの方々といっしょに地域美化活動に取り組んだ。



< 箏の学習 >



< 地域美化活動 >

② P T Aと連携した活動

P T A本部役員は、生徒たちが日本の文化を味わい大切にしていける態度を身に付けていくことを期待して、学校祭の時に生徒たちをお茶席に招待した。

P T A保健福祉部では、進んで健康な体づくりに取り組むことを期待して、今年度は目の健康に取り上げステージ発表を行った。



↑ < P T A主催お茶会 >

< P T A保健福祉部の発表 > →

題名は「 探偵コナン 視力の謎を追え～織田中編～」

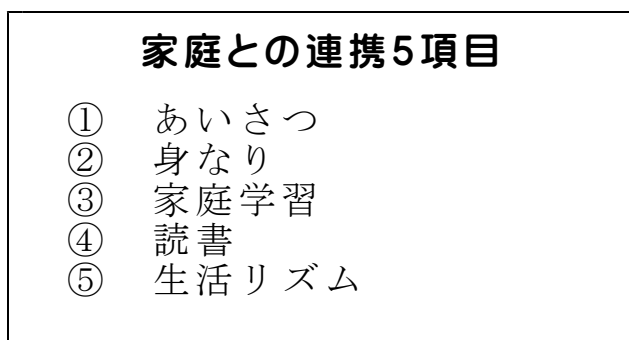
コナンが織田中学校に潜入し、視力の謎を解き明かしていくストーリーです。

前半はアンケートの結果から、織田中の視力の様子、テレビやゲーム、インターネット等の視聴時間の実態、視力低下の原因や不便な点、さらに、視力低下を防ぐために気を付けていることなどをグラフを用いながら発表しました。

後半は、織田病院の眼科の先生からお聞きした近視の話やコンタクトレンズ使用の際の注意点などを発表しました。

昨年同様、保健福祉部員が声優になり、パワーポイントで制作しました。

- ③ 家庭や地域の教育力を高める取組
家庭や地域の協力を得るため、小中連携の意義や活動内容を広報紙「ひびき愛」やリーフレット「家庭との連携5項目」を発行した。



- ④ 運営の工夫
- 織田部会の開催（4月27日）
小中連携推進事業の意義や活動内容についての共通理解を図ることを目的として、織田中学校区の小中学校の教員が一堂に会する機会を設けた。
 - 学校関係者評価の実施（2月16日）
学校関係者評価委員長から学校関係者評価書の説明を聞き、次年度のスクールプランを立案するようになった。
 - 学校評価の工夫
学校評価の項目に「連携」を設け、小中連携の取り組みに工夫・改善を図っていくようになった。

項目	具体項目	目標	具体的方策	評価（アンケート）
連携	小学校との連携	「小中連携事業の取り組みを理解している」としている教員を100%にする。	小中9年間を見通した手立てを「学び方部会」「生き方部会」「ふるさと部会」の各部で取組む。	【教員】 目標…肯定的評価100% 方策…肯定的評価 92%

2 成果と課題

(1) 成果について

- 平成20年度から県小中連携教育推進事業の研究指定を受け、「ふるさとを愛し、たくましく生きる織田の子の育成」を研究主題として、児童生徒の交流、教職員の交流、地域の人との交流に取り組んできた。その結果、「学級は楽しい」と答える中1の割合は97%ととても高い。
- 織田部会を開催したことにより、異動してきた教員への理解や小中学校教員同士の交流を深めることができた。

(2) 課題および次年度に向けて

- これまでの小中連携推進事業の成果と課題を精査し、織田地区の児童生徒の教育という視点に立って、教育を推進していきたい。

